

2023年10月25日

SUBARU「一つのいのちプロジェクト」を開始

～「日光国立公園 那須平成の森」に BEV ソルテラを提供～

SUBARU は、社会への貢献を通じ、共感・共生の環を拓げる取り組みとして「一つのいのちプロジェクト」を開始します。

SUBARU は、航空機メーカーの DNA を持ち「人を中心としたモノづくり」のなかで安全を最優先に考え、「いのちを守る」ことを大切にしてきました。その想いを軸に、お客様・販売店・SUBARU、そして地域社会と共に行う活動として、「一つのいのちプロジェクト」に取り組んでいきます。かけがえのない「ひとのいのち」、大切にしたい豊かな森の植物や生き物といった「自然のいのち」、この2つのプロジェクトテーマを掲げ、我々と同様の想いをもち「笑顔のあふれる未来に向けて守り・繋いでいく」ために日々活動している方々を応援していきます。

このような考えのもと、SUBARU は、これまでに「水辺の事故ゼロ」を目指している日本ライフセービング協会、世界遺産知床の自然を守り、よりよい形で次世代に引き継ぐことを使命として活動している知床財団へのサポートを行ってきました。

この度、「自然のいのち」の新たな提携先として、全国 15 の国立公園の公園管理を行う「一般財団法人 自然公園財団（所在地：東京都千代田区）」とのパートナーシップを締結しました。その第一弾として、日光国立公園にある「那須平成の森（所在地：栃木県那須郡那須町）」に在籍するインタープリター^{*1}の活動を支援するため、SUBARU 初のグローバル BEV^{*2}である「ソルテラ」を提供します。

*1: 自然と人との仲介となって自然解説を行う専門家

*2: Battery Electric Vehicle（電気自動車）

この車両は、那須平成の森の各活動に使用される他、那須町周辺の課外授業やその他の地域イベントへの出展といった対外活動にも活用されます。

また、2024 年には那須平成の森にて、お客様と自然を愉しむイベントの開催を計画しています。



日光国立公園 那須平成の森
（インタープリターの活動風景）



那須平成の森の活動に使用される車両
（ソルテラ、イメージ）

SUBARU グループは「笑顔を作る会社」を目指して、CSR 重点 6 領域（「人を中心とした自動車文化」「共感・共生」「安心」「ダイバーシティ」「環境」「コンプライアンス」）を定め、SUBARU グローバルサステナビリティ方針のもと、グループ・グローバルで意思を共有しながらサステナビリティを推進しています。今後も SUBARU は真のグローバル企業として持続的な成長を目指すとともに、愉しく持続可能な社会の実現に貢献していきます。

詳細については、SUBARU オフィシャル Web サイトをご確認ください。

<SUBARU オフィシャル Web サイト「一つのいのちプロジェクト」>

<https://www.subaru.jp/project/hitotsunoinochi/>

<SUBARU グループのサステナビリティ>

<https://www.subaru.co.jp/csr/>

【参考】日光国立公園 那須平成の森ホームページ

<https://nasuheisei-f.jp/>